

北竜の森から

空知森林管理署北空知支署 恵岱別・深川森林事務所

恵岱別森林事務所：住所 北海道雨竜郡北竜町字和2番地の6

北竜町のみなさんに国有林のいろいろな情報を毎月お届けします。

>>> our forest

森林整備技術検討会を小豆沢地区国有林で開催！！



(上記の写真は技術検討会の様子です。)

11月30日(水)、深川森林事務所部内小豆沢地区463林班において『伐採系森林整備事業技術検討会』を実施しました。

これは、公益的機能の向上に配慮した森づくりを推進するため、保育間伐・誘導伐・受光伐・保護伐の森林整備について、一般会計から繰り入れた森林整備費による実施するため、その理解を深め、現地に適した森づくりを目的として行っています。

当日、旭川事務所職員、北空知支署職員を含め、総勢23名が参加するなか、午前中、現地において現地検討が行われました。

午後からは会場を役場会議室に移動し、参加者全員が伐採系森林整備事業の一層の理解を深め、それぞれの現場に適した森づくりについて活発な意見交換が行われ、今後、豊かな森づくりに向けたスキルアップ(技能向上)を図りました。

地上に降った雨が、全て川になって海へ流れてしまつたら、私たちが使える水が無くなつてしまいます。でもそうならないのは、いったん地中に浸透して蓄えられ、ゆっくり流れ出てくる水があるからです。どれだけ沢山の量を蓄えられるかは、その地面の構造が水の浸透しやすいものになっていくかどうかによります。森林の土壌は、落枝落葉などによる有機物の供給や土壌生物の働きにより、穴の多いスポンジのようになっており、雨水や雪解け水をすみやかに地中に浸透させる働きがあります。その能力は裸地の3倍という報告があります。

(右の写真は恵岱別ダム周辺の景色です。)



このような働きにより、森林は雨水などを蓄えてゆっくりと河川に流し、洪水や濁水を緩和しています。また、その課程で濁りを抑えたり、窒素など水の汚れにつながる物質を取り除くなど水質を浄化しています。

暮らしを守る北竜の森林は「みどりのダム」



フォレスター通信

『保安林』とは・・・



保安林とは、水源のかん養、土砂の崩壊その他の災害の防備、生活環境の保全・形成等、特定の公共目的を達成するため、農林水産大臣又は都道府県知事によって指定される森林です。保安林では、それぞれの目的に沿った森林の機能を確保するため、立木の伐採や土地の形質の変更等が規制されます。保安林は、水源のかん養、土砂災害の防備等それぞれの公益目的の達成のために指定され、その種類は17種類に及びます。保安林における制限については、①立木の伐採②土地の形質の変更についてもともに都道府県知事の許可が必要。③伐採跡地へは指定施業要件に従って植栽を

(右の写真は竜西地区の水源かん養保安林です。)



しなければなりません。恵岱別森林事務所部内での種類別保安林面積は、水源かん養保安林が約8,720ha、保健保安林が約2,098ha、土砂流出防備保安林が約56ha(指定面積が重複)が指定されています。

地球を守るみんなの財産 国有林

森林は、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を吸収し、幹などに貯蔵することにより地球温暖化防止への貢献が期待されています。また、農林水産省では「農業」、「林業」、「漁業」といった各方面から地球温暖化防止への総合的な取り組みも行っています。